

- 学校からお子様の発達について説明があり、どう対応していいのかわからない。
—お話を伺いながらお子様が必要な支援と一緒に考えます。—
- 学校(担任)との連携が取りにくい。
—保護者の方のお話をお聞きし、学校との橋渡し役となります。—
- お子様の友人関係が上手くいっていないようで心配である。
—まず、お子様から話を伺うことや、学校の様子を見させていただき、保護者の方と対応を考えていきます。—



■SSWの利用方法

○最初のご利用は、学校に「SSWの活用」とご相談ください。

学校からの連絡を受け、SSWから保護者の方にご連絡させていただき、内容についてお伺いしたのち、担当者及び継続面談の日程を調整させていただきます。

勤務時間：相談・訪問

月曜日～金曜日 10時～17時まで

まずは、

お話を聞かせてください。

保護者の皆さんと共に、お子様の学校生活を応援していくことがSSWの仕事です。
お気軽にご相談ください。

東久留米市教育委員会 指導室

保護者の皆さまへ

東久留米市

SSW

(スクールソーシャルワーカー)

のご案内



東久留米市教育委員会

■SSW（スクールソーシャルワーカー）とは何する人？

お子様に起こる様々な問題に関して、背景や環境に着目し、問題解決を目指す福祉専門職です。（社会福祉士、精神福祉士の国家資格を有する。）

そのため、本人だけでなく、学校を含めた周り（環境：人的・物的）との連携・調整の構築を図りながらお子様の学校生活を支えていくことを目標にしています。

保護者の方との話し合いを大切にし、何ができるかを一緒に考え、サポートします。

また、お子様の様子を確認しながらせかすことなく、継続的に支援を進めます。

■スクールソーシャルワーカーの役割

小・中学校

地域



家庭

関係機関

■こんな時に活用してください



■SC（スクールカウンセラー）や、教育相談室の人とは何が違うの？

学校のSC（スクールカウンセラー）や教育相談室の相談員は、心理の専門家です。一対一のカウンセリングによるアプローチをします。

SSW（スクールソーシャルワーカー）はお子様を取り巻く環境（学校や家族、地域、公的機関など）に協力を得ながら問題の解決を目指します。

関係者間の情報を集約して、保護者の方やお子様自身と一緒に秘密を守りながら問題を整理して解決を図っていきます。

■SSWの主な活動

- 面談は、家庭訪問や学校で行い、保護者の方やお子様が困っていることをお伺いいたします。
- 学校や関係機関と連携し、お子様の学校生活を支えるネットワークづくりを目指します。
- お子様の学習支援に関わる内容にも校内を含めた居場所の検討、適切な学習環境の検討など一緒に考えていきます。

■お子様の様子とその対応例

- お子様が学校に行きたがらない。長期欠席に陥っている。
－家庭訪問して、まずは、お子様がどうしたいのかをお聞きします。－
- 学習の遅れもあり、進路が不安である。
－お子様の状況に合わせた学習環境を保護者の方と共に将来のことを考えます。－
- 保護者の方の体調不調や、他の家族に手がかかり、お子様の事まで手が回らない。
－他の支援機関の活用を検討しご家族の負担軽減を図ります。－